

(福) ケアハウス信愛館

新緑の季節も過ぎ、また雨の季節がやってきました。対策は万全にと、できるだけの手立てをして梅雨を迎えようとしていますが、少雨であってほしいと願うばかりです。信愛館では新しい入居者を数名お迎えし、仲間が増え嬉しい限りです。楽しく生き生きと生活していただけるように、職員一同「心を合わせ一つ思いになつて」努める所存です。

◆五月四日(木)近江商人町家「奥村家住宅」

特別公開へ出掛けました。長年整備されてきた町家、庭園、そして竹行灯百基が展示されていて、その中には役員である中谷哲夫様の作品もありました。様々な作品をゆつくり鑑賞し、取り上げられている題材の多さにも入居者の皆様は感心



され、よく手入れされた庭園も見学し、信愛館近辺にも名所があることに気付かされました。

◆五月五日(金)「絵本を読む会」を行いました。この日は「子供の日」。入居者である鶴谷頼子様が蔵書の中から、講談社「むかし話し」と平安建都千二百年記念出版「京の歴史絵本」を選ばれ皆で読みました。講社の本は、現代風の挿絵ではなく復刻版で、出版当時の絵本が再現され、色彩と絵の両方が落ち着いたおもむきで、あらためて「桃太郎」「一寸法師」「猿蟹合戦」など

めいめいが手にとつて読み、子供向けとはいえ、戦前の豊かな芸術世界に触れることができました。また京都を舞台にした「羅生門」「酒呑童子」「安寿と厨子王」などの本は、挿絵を画家が描いたもので、英文でも物語が書かれていて、大人の鑑賞にもたえうる、そして抽象的な絵でありながら物語の雰囲気がよく表現されて

いて、新鮮な驚きでした。機会があれば、ぜひ一度手に取ってお読みください。

◆五月七日(日)「2017・オープンガーデン」に出掛けました。近江八幡市南津田町にある西川新吾宅の花々が咲き誇る庭を訪れました。西川様が便宜をはかつてくださり、混雑を避け一般公開とは日程を変えての見学となりました。草花の種類のもさることもながら、手入れの方法、土づくりなどについても直接話を伺う事ができ、園芸が趣味の皆様にとって、参考になった様子でした。

